

普通期米 栽培管理情報

1. 生育状況

本年の普通期米については、5月29日に梅雨入り（平年6月5日）し、7月25日（平年7月19日）に梅雨明けし、田植えは順調に推移しましたが、7月の豪雨を中心に、ジャンボタニシによる食害等が散見されますが、生育は概ね良好で茎数も確保できています。

今後は、出穂時期～成熟期を迎えるため、適切な管理を徹底しましょう。

病害虫については、カメムシ類の多発に注意してください。

2. 水管理

出穂7日前（オオバラの時期）から出穂7日後（穂揃い）までは可能な限り水を切らさないよう管理を行う。

出穂後は、間断灌水を実施し、水に余裕のある場合は、高温障害防止の為、夜間に水の掛け流しを行い、地温を下げ品質向上に努める。間断灌水の際、乾かしすぎ（白乾状態）に注意し常に土が湿っている状態を維持すること。

また台風の接近等強風が予想される場合は、水分の蒸散を防ぐため、出来る限り深水を行う。

充実向上の為、収穫一週間前の走り水を必ず行いましょう！

3. 病害虫

いもち病	現在、葉に病斑が在る場合は、発生が懸念されるので注意が必要。 使用薬剤 ワイドナーエース粉剤 3～4kg/10a または、 ノンプラスフロアブル 1,000倍
ウンカ	発生は平年並みですが、7/8～14飛来の特イロウンカ（秋ウンカ）に注意が必要です。 今年は、 カメムシと合わせて （8/25～9/5頃）に同時防除を行う！！ ※飼料米は、一般米と同じように必ず防除を行ってください。 ※WCSは、 必ず契約畜産農家に確認 してから防除を行ってください。 WCSは、 スタークル粉剤 4kg/反（収穫7日前まで）のみ散布可能
カメムシ	本年は平年より多く発生しており、 必ず防除 してください。 ① <u>稲の出穂前に畦畔の草刈り</u> を行う。 <u>その際、雑草の穂が出穂する前に草刈り</u> を行うことが重要。 ②イネカメムシの散布適期は <u>出穂期頃</u> 使用薬剤 キラップ粉剤 3～4kg/反または キラップフロアブル 1000倍100L/反 又は エクシード粉剤 3kg/反または エクシードフロアブル 2000倍100L/反

※農薬散布の際は、周辺作物等に飛散がないよう十分注意してください！！

※粒剤体系を使用する場合は水を溜め、防除適期の3日程前に施用して下さい。

問い合わせ 農畜産課 327-3912